

2024 年 7 月 22 日

【サーバ保守限定サポート】

(1) サーバ保守範囲について

マネージドサービスまたはミライマネージドサービスは、「提供ポリシー」に示される EOL 以降はサポート内容につき以下のとおり変更されます。

	マネージドサービス*1 ミライマネージドサービス*1	下記(*2)に該当する OS	EOL 以降
リソース追加			
vCPU	○	○	対応不可
メモリ	○	○	対応不可
ストレージ	○	○	対応不可
仮想 NIC	○	○	対応不可
物理ポート	○	○	対応不可
グローバル IP アドレス	○	○	対応不可
マネージドサービス			
コマンド実行	○	○	○
各ミドルウェアへのアクセス数、接続数の調整	○	○	○
新たな領域・DB の追加	○	○	対応不可
ドメインの追加	○	○	対応不可
アクセス許可 IP 設定・変更	○	○	○
SSL 証明書更新	○	○*3	有償証明書のみ対応*3
サーバ再起動	○	○	○
監視サービス	○	○	○
バックアップの取得	○	○	○
イメージバックアップからのデータ復元	○	△*4	△*4
アップデート	○	対応不可	対応不可
管理画面提供	○	保守は行いません	保守は行いません

*** 1**

Red Hat Enterprise Linux OSにてLife Cycle Supportをご契約のお客様は、マネージドサービスまたはミライマネージドサービスとなります。

*** 2**

Red Hat Enterprise Linux 7、Red Hat Enterprise Linux 6
CentOS Stream 8
CentOS 8、CentOS 7、CentOS 6、CentOS 5

注意事項

Red Hat Enterprise Linux 7、CentOS Stream 8、CentOS 7 については、**2026年3月31日**以降は、「EOL以降」のサーバ保守範囲を適用します。**2027年3月31日**をもってサービスサーバは自動解約となります。期限の到来前にマネージドサービスまたはミライマネージドサービスの範囲となるサービスサーバへの移行を行なってください。

Red Hat Enterprise Linux 6、CentOS 8、CentOS 6、CentOS 5 については、**2026年3月31日**をもってサービスサーバは自動解約となります。期限の到来前にマネージドサービスまたはミライマネージドサービスの範囲となるサービスサーバへの移行を行なってください。

*** 3**

ミドルウェアのアップデートが必要な場合は、有償証明書であっても対応できない場合があります。予めご了承ください。

*** 4**

バックアップからのデータ復元ができないと当社が判断した場合、その時点でサービス提供を終了させていただきます。

(2) データ復旧およびサービス終了について

EOLを過ぎたOS、ミドルウェアに不具合や故障が発生し復旧できない場合や、ご契約サーバを起因として本サービス用設備等の利用・運営に支障を与える事象が発生した場合には、その時点でサービス終了となります。その際にデータ損失等で生じた損失につき、直接的間接的を問わず当社は一切の責めを負いません。予めご了承ください。

(3) サービス利用期間

EOLから2年経過しますとサービスサーバは自動解約となります。期限の到来前にマネージドサービスまたはミライマネージドサービスの範囲となるサービスサーバへの移行を行なってください。